

ATL 発症高危険群の同定と発症予防法開発を目指す研究(JSPFAD)へ

ご協力いただいた皆さまへ

【JSPFAD 検体のバイオマテリアルバンク・データベース使用への協力をお願い】

JSPFAD では、皆様のご協力により提供していただいた血液の検体、臨床情報、ゲノム情報を収集・保管を行なっております。保管された検体については、病態解明、発症予防法や治療法の開発等の研究推進のためバイオマテリアルバンク・データベース化し、各研究機関へ提供できるように整備を進めております。

保管の同意をいただいた皆様の検体・データの提供先・使用については、HTLV-1 ホームページにて記載しております。(<http://www.htlv1.org/>)

もし、保管検体・データの使用についてご同意をいただけない場合には、お手数ですが下記<問い合わせ・連絡先>までご連絡ください。あなたの検体・データの使用・提供を中止いたします。同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

以下の内容を確認してください。

検体・データ提供先機関一覧

- ・ 京都大学大学院医学研究科附属ゲノム医学センター（研究責任者：松田文彦教授「ヒトとウイルスのゲノム情報と臨床情報の統合による HTLV-1 関連疾患の診療支援全国 ネットワークの確立」）

この検体・データの提供は、東京大学の倫理審査委員会で審査され、研究科長・部局長の承認を受けて行われます。

提供対象は JSPFAD にご協力いただいた方で、関連研究の為に検体の保管に同意があった方の保管検体・データです。

保管検体・データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはありません。ご協力いただいた方への謝礼等もありません。

使用する検体・データは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関して厳重に管理し提供いたします。

検体は全ゲノム解析を行う場合があります。

研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合や、データベース化され研究機関で利用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

研究の結果、知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は JSPFAD・各研究機関に帰属し、あなたには帰属しません。

特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

<問い合わせ・連絡先>

研究責任者

岡山 昭彦 宮崎大学医学部内科学講座免疫感染病態学分野 教授

〒889-1692 宮崎市清武町木原 5200 電話 0985-85-7284(代)